



砂川地区かわまちづくりが「かわまち大賞」を受賞しました

～全国303か所の「かわまちづくり」から選出～

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組「かわまちづくり」を推進しています。この度、砂川市による「かわまちづくり」が、全国で進められている「かわまちづくり」の中から他の模範となる先進的な取組として、令和7年度「かわまち大賞※」を受賞しましたのでお知らせします。なお、北海道内の「かわまちづくり」では、令和6年度受賞の「平取町かわまちづくり」に続いて2か所目の受賞となります。

※「かわまち大賞」は、全国303か所の「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組として表彰されるもので、平成30年度の賞創設以降、これまで全国で15か所が選定されています。

1) 全国の受賞箇所

かわまちづくり名称	推進主体	関係自治体
すながわ 砂川地区かわまちづくり	北海道砂川市	北海道 砂川市
いずくにし 伊豆の国市かわまちづくり	かのがわ 狩野川利活用調整協議会	静岡県 伊豆の国市

砂川市かわまちづくりの取組及び評価は、「別紙①」及び動画 (https://youtu.be/2Pke9_nZSUU) をご覧ください。

2) 表彰式

日時：令和8年1月19日（月） 16時30分～16時45分頃

場所：国土交通省 国土交通大臣室（予定）

表彰式の詳細は、以下の国土交通省の報道発表をご参照ください。

国土交通省報道発表：https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000284.html

3) 添付資料

別紙①：受賞箇所の取組及び評価

参考①：「かわまち大賞」の概要

参考②：かわまちづくり支援制度の概要



「かわまちづくり支援制度」の概要は、以下の北海道開発局ホームページにも掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kou/ud49g7000000ahtj.html

全国の取組は、以下の国土交通省ホームページの「全国かわまちづくりMAP」でご覧いただけます。

<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyau/machizukuri/map.html>



川へ行こう！ 川を楽しもう！

かわたび
ほっかいどう

北海道開発局では、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」を推進しています。

【問合せ先】

○かわまちづくり支援制度について

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 河川工事課 河川技術対策官 吉田 裕敏（内線5313）

上席治水専門官 佐々木 努（内線5315）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

○砂川地区かわまちづくりについて

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 電話（ダイヤル）011-611-0329

特定治水事業対策官 唐澤 圭（内線3451）

流域治水対策専門官 林田 寿文（内線3327）

砂川市 経済部 商工労働観光課 電話（代表）0125-54-2121

課長 阿部 範明（内線2101）



すながわちく

砂川地区かわまちづくり

令和7年度 かわまち大賞

【題名】魅力的な水辺空間とすながわスイーツを融合した官民連携のまちづくり

【河川】石狩川水系・石狩川（一級河川）



水上アクティビティ



アイスカルーセル（氷のメリーゴーランド）



ウォーターヒルズスクエア



スイートマラニック



水面を利用したイベント



わかさぎ釣り

かわまちづくりの概要

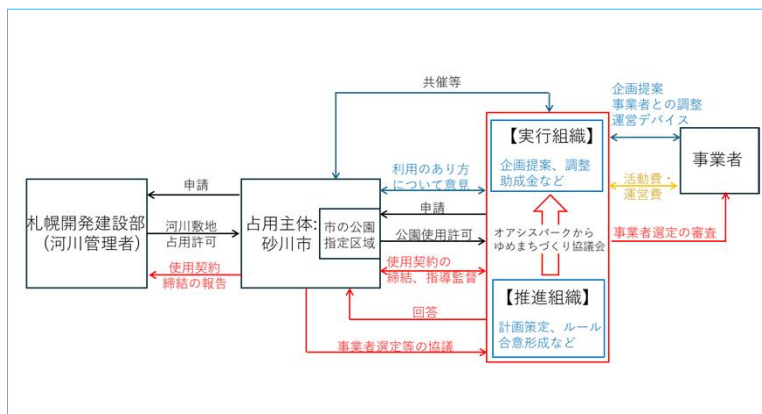
- ・河川管理者による親水護岸等の整備に加え、市による多目的広場等の整備により、陸上・水面の両方の利便性が向上し、花火大会等の砂川市最大規模のイベントからカヌー・ヨット・ワカサギ釣り等まで、子どもや大人を問わず、日常的に水に親しめる環境が創出されている。
- ・遊水地のかわまちづくりとして治水と親水を兼ね備えた水辺空間を形成し、様々なアクティビティとともに、地域ブランドである「すながわスイーツ」を融合した取組も盛んに行われている。
- ・遊水地管理棟を含めた砂川遊水地全体を都市・地域再生等利用区域に指定することにより、民間事業者が営業活動を行いやすい環境が整備され、イベントの魅力向上と来館者増加の好循環が生まれている。

評価のポイント

- ・遊水地を活かしたかわまちづくりの事例として貴重で、更に結氷した湖面での活動や冬まつりの開催等の冬季活用を進めている点は、水辺利用における季節格差への対応例として先進的であり、今後のかわまちづくりの参考になる。
- ・官民連携の13団体からなる協議会「オアシスパークからゆめまちづくり協議会」が運営の中心となり、河川空間と地域固有資産のスイーツを融合したイベントやレンタサイクル、スタンプラリー等の取組の連携により、まちなかへの回遊が促進されており、その活動に若い世代が積極的に関わっている様子がうかがえ、継続的な取組となることが期待できる。

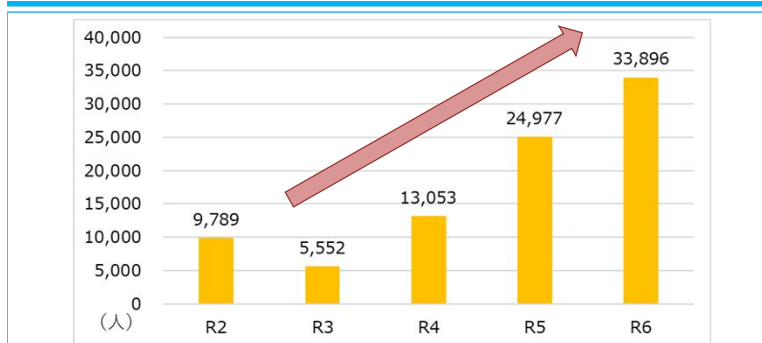
体制

- ・オアシスパークからゆめまちづくり協議会



管理運営体制図

効果



遊水地管理棟（ウォーターヒルズスクエア）の利用者数の推移

問合せ先：砂川市経済部商工労働観光課

TEL：0125-54-2121 E-Mail：kanko@city.sunagawa.lg.jp

「かわまち大賞」の概要

- ◆ 河川空間を活用し、地域の賑わいを創出した、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰し、その取組を全国に周知します。
- ◆ 取組団体を讃えるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指します。

かわまちづくり支援制度への登録
(R7年8月時点:303か所)

募集対象

<供用済>

箇所 A

箇所 B

<一部供用>

箇所 C

箇所 D

<未供用>

箇所 E

箇所 F

応募

有識者で構成する

「審査委員会」

※委員は、建築・都市史、観光、
地域政策、都市計画等の分野
で構成

※表彰まで委員名簿は非公開

審査
選定

国土交通大臣による

「表彰」

※受賞された応募主体に対し、
表彰式を実施。

「かわまち大賞」のねらい

『かわまち大賞』
表彰・周知

地域に新たな
賑わいの創出

経済活動
社会活動の
生産性を向上

河川敷地の
利活用拡大

民間事業者のもつ
ノウハウを活かした
計画策定

来訪者増加による
地域の活性化

民間事業者の
参入意欲拡大

地域の資源を
活かした新たな
アイデアの創出

新規登録
計画変更

<募集対象>

「かわまちづくり」計画が登録されている
303か所のうち、計画に基づく、全部又は
一部が供用している箇所のうち、取組に
よって、地域のニーズに応じた利活用が
図られ、地域活性化に一定の成果を上げ
ている箇所を対象とします。

水源地から河口まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和7年8月時点:303か所)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川／大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川／広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川／新潟市)

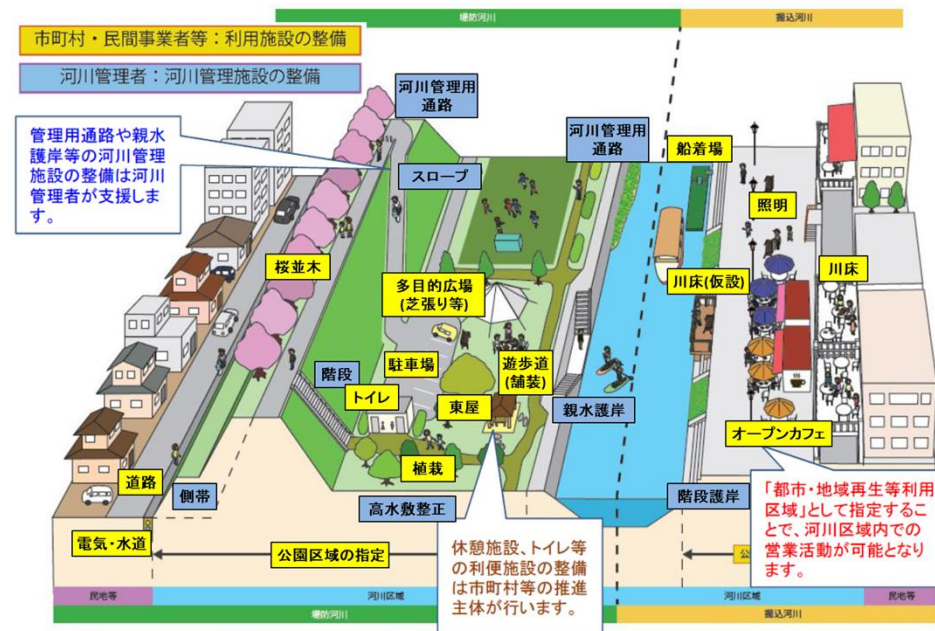


賑わい拠点の整備
(木曾川／美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。

(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川／長井市)



親水護岸の利用
(新町川／徳島市)